

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】令和 2 年 5 月 28 日 (2020.5.28)

【公表番号】特表 2019-528070 (P2019-528070A)

【公表日】令和 1 年 10 月 10 日 (2019.10.10)

【年通号数】公開・登録公報 2019-041

【出願番号】特願 2019-510673 (P2019-510673)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/11 (2006.01)

C 4 0 B 40/06 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 N 1/15 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

C 1 2 N 9/16 (2006.01)

C 1 2 N 15/63 (2006.01)

C 1 2 Q 1/6872 (2018.01)

C 1 2 N 1/11 (2006.01)

C 1 2 Q 1/6844 (2018.01)

C 1 2 N 15/55 (2006.01)

【F I】

C 1 2 N 15/11 Z

C 4 0 B 40/06 Z N A

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 5/10

C 1 2 N 9/16 Z

C 1 2 N 15/63 Z

C 1 2 Q 1/6872 Z

C 1 2 N 1/11

C 1 2 Q 1/6844 Z

C 1 2 N 15/55

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 4 月 3 日 (2020.4.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

核酸ライブラリであって、該核酸ライブラリは、少なくとも 500 の非同一の DNA 分子を含み、各非同一の DNA 分子は異なる gRNA 配列をコードし、各 gRNA 配列は哺乳類遺伝子に相補的な標的ドメインを含み、および、少なくとも 500 の非同一の DNA 分子の少なくとも約 80% が、核酸ライブラリ中の非同一の DNA 分子の各々について平均頻度の 2 倍以内の量で核酸ライブラリにそれぞれ存在する、核酸ライブラリ。

【請求項 2】

各非同一のDNA分子は、約20%～約85%のGC塩基含有量を有する、請求項1に記載の核酸ライブラリ。

【請求項3】

各非同一のDNA分子は、約30%～約70%のGC塩基含有量を有する、請求項1に記載の核酸ライブラリ。

【請求項4】

少なくとも500の非同一のDNA分子の少なくとも約90%は、核酸ライブラリ中の非同一のDNA分子の各々について平均頻度の2倍以内の量で核酸ライブラリにそれぞれ存在する、請求項1に記載の核酸ライブラリ。

【請求項5】

少なくとも500の非同一のDNA分子は、少なくとも2000の非同一のDNA分子を含む、請求項1に記載の核酸ライブラリ。

【請求項6】

少なくとも500の非同一のDNA分子は、少なくとも3500の非同一のDNA分子を含む、請求項1に記載の核酸ライブラリ。

【請求項7】

各非同一のDNA分子は、最大200の塩基の長さを含む、請求項1に記載の核酸ライブラリ。

【請求項8】

少なくとも500の非同一のDNA分子は、生物学的経路において、遺伝子を標的とするgRNA配列をコードする非同一のDNA分子を含む、請求項1に記載の核酸ライブラリ。

【請求項9】

少なくとも500の非同一のDNA分子は、全ゲノムにおいて、遺伝子を標的とするgRNA配列をコードする非同一のDNA分子を含む、請求項1に記載の核酸ライブラリ。

【請求項10】

gRNAは単一のgRNAまたは二重のgRNAである、請求項1に記載の核酸ライブラリ。

【請求項11】

核酸ライブラリあって、該核酸ライブラリは少なくとも2000の非同一の核酸を含み、各非同一の核酸は異なるsgRNA配列をコードし、各sgRNA配列は真核生物の遺伝子に相補的な標的ドメインを含み、および、少なくとも2000の非同一の核酸の少なくとも約80%は、核酸ライブラリ中の非同一の核酸の各々について平均頻度の2倍以内の量で核酸ライブラリに存在する、核酸ライブラリ。

【請求項12】

各非同一の核酸は、約20%～約85%のGC塩基含有量を有する、請求項11に記載の核酸ライブラリ。

【請求項13】

少なくとも2000の非同一の核酸の少なくとも約90%は、核酸ライブラリ中の非同一の核酸の各々について平均頻度の2倍以内の量で核酸ライブラリ中にそれぞれ存在する、請求項11に記載の核酸ライブラリ。

【請求項14】

各非同一の核酸は最大で200の塩基の長さを含む、請求項11に記載の核酸ライブラリ。

【請求項15】

少なくとも2000の非同一の核酸が、生物学的経路において、遺伝子を標的とするsgRNA配列をコードする非同一の核酸を含む、請求項11に記載の核酸ライブラリ。

【請求項16】

少なくとも2000の非同一の核酸が、全ゲノムにおいて、遺伝子を標的とするsgRNA配列をコードする非同一の核酸を含む、請求項11に記載の核酸ライブラリ。

【請求項 17】

各非同一の核酸はDNA分子またはRNA分子を含む、請求項11に記載の核酸ライブラリ。

【請求項 18】

アンブリコンライブラリであって、該アンブリコンライブラリは複数の非同一のDNA分子含み、各非同一のDNA分子は増幅産物の集団中に存在し、各非同一のDNA分子は異なるgRNA配列をコードし、各gRNA配列は真核生物の遺伝子に相補的な標的ドメインを含み、および複数の非同一のDNA分子の少なくとも約80%は、アンブリコンライブラリ中の非同一のDNA分子の各々について平均頻度の2倍以内の量でアンブリコンライブラリにそれぞれ存在する、アンブリコンライブラリ。

【請求項 19】

各非同一のDNA分子は、約30%～約70%のGC塩基含有量を有する、請求項18に記載のアンブリコンライブラリ。

【請求項 20】

gRNAは単一のgRNAまたは二重のgRNAである、請求項18に記載のアンブリコンライブラリ。